

第47回 景気動向アンケート報告

(2017年1月～4月期)

＜今期DI値は+24で前年同期比+13ポイント、来期は+23で前年同期比+11予測＞

○全体業況判断DI（良いとする企業数－悪いとする企業数）÷回答企業数の%

※（ ）の数字は、前年同期比の増減

年	1-4月	5-8月	9-12月	年3期平均値
2013	+8 (▲11)	+16(+10)	+26(+22)	+16.7(+11.1)
2014	+24(+16)	+9 (▲7)	+6 (▲20)	+13.0 (▲3.7)
2015	+12(▲12)	+5 (▲4)	+24 (+18)	+13.7(+0.7)
2016	前年同期+11(▲1)	+12(+7)	前期+15(▲9)	+12.7 (▲1.0)
2017	今期+24(+13)	来期予測+23(+11)	-	-

イ) 鹿児島の中小企業家の業況判断は、今期(2017年1-4月期)DI+24で、前年同期のDI+11に比べ、+13ポイント。来期(2017年5-8月期)予測DIは+23で前年同期比+11ポイントの予測。

ロ) 個別指標実績の前年同期(2016年1-4月期)vs今期(2017年1-4月期)比較は、売上DI+10→+30(+20)、収益DI+7→+20(+13)、資金繰りDI+15→+12(▲3)と、資金繰りを除き「かなり」改善したと評しうる数値となった。但し、前期(2016年9-12月期)vs今期(2017年1-4月期)比較では、資金繰りも含め3指標とも(売上+14ポイント改善、収益+21ポイント改善、資金繰り+19ポイント改善)と一様に「かなり」改善している。

ハ) 業種別業況DIの前年同期比の数値の高い順に、建設業DI▲5→+24(+29)、事業所向けサービス業DI+14→+39(+25)、卸売業DI+25→+40(+15)、製造業DI+25→+36(+11)、小売業DI+8→▲11(▲19)、個人向けサービス業DI+13→▲10(▲23)の結果。建設業が大きく改善。事業所向けサービス業は安定。卸売業、製造業も高い。個人向けサービス業、小売業が前期比マイナス。

二) 当分析会議テーマ「実感なき好況」について

2012年9-12期以来の全体業況DIのプラス領域での推移(良いと答える起業家数が、悪いと答える起業家数より多い)は、今期も更新し連続14期となり、来期も続く予測である。今期の分析会議でも引き続き、主に「実感なき好況」という観点から話し合った。「上記ハ)に見られるように個人向けサービス業、小売業の数値が低い。個人消費という、より生活に近い分野と産業・ビジネス分野との間に乖離がある」「住という側面からみると、新築賃貸マンションでも空室が発生し、なかなか埋まらないという以前では考えられない事態が生じている」「銀行の貸出先が、対事業では借り手の消極性が目立ち、個人の不動産投資に向っている」「あらたに取り組みたい魅力的な事業分野も今のところ見出せず、また、求人しても応募がない」「優秀な非正規社員に対して、正社員化を打診しても、責任や強い義務感に縛られたくないというようなことで断られることもある」等々の意見が出た。景気の基調は、ここ数年控えめに言っても「悪くない」のだが、経営者、生活者とも、「イケイケ」的な高揚感までには達していない。例えば、プレミアム・フライデーというキャンペーンに踊り出す気持ちを何が阻害しているのか、政策担当者も、われわれ企業家も、真摯に究明する必要がある。

概要

○経営上の問題点

別添資料の通り。TOP3は、「従業員不足」「受注競争激化」「価格競争激化」。とりわけ、求人難は深刻である。分析会議では、外国人雇用の広がりも話題となった。

○経営上の力点

別添資料の通り。TOP3は、「新規受注(顧客)確保」「付加価値増大」「人材確保」。分析会

議では、人材の奪い合いについて、建設業界内で資格を保有した幹部・熟練者に加えて、現場の未熟練の中途採用者や若手の離職の事案も紹介された。

○身近な景気判断指標について

別添資料の通り。TOP 3は「自社の業績が良い」「給料や役員報酬を増やせる」「資金繰り良好」。自由記入のその他として「銀行が融資をすすめる」「顧客の金払いがよい」「中期見通し良好」等。

分析会議で問題視している事業上の景況感と経営実感・生活実感の乖離という点に肉薄するには、今後「給料は増えたか」「貯蓄（内部留保、退職金積立）は出来たか」「中長期的な経営上、生活上の不安の元は、何か」等、問うていく必要がある。

○鹿児島市の今後の事業計画の認知状況について

別添資料の通り。TOP 3は「交通局跡地複合施設」「鶴丸城御楼門復元」「本港区市電延伸」。以下「鹿児島駅舎周辺開発」など僅差で続いている。これらの事業が、事業家、生活者双方に実益をもたらすべきという観点から、当会でも計画段階から情報収集、意見表明、参画等していくことを検討すべきである。

1. 対象企業 鹿児島県中小企業家同友会会員企業（486社）
2. 対象期間 2017年1月～4月期実績、2017年5月～8月見通し
3. 調査方法 FAXによる自計記入を求めた
4. 調査期間 2017年5月10日～5月29日
5. 回答企業数 92社より回答を得た（回答率18.9%）

景気動向調査アンケート(第47回)

(今期は2017年1月～4月です)

☆ この調査は全会員の皆様を送っております。結果は6月に全会員に公開いたします。

☆ 尚、個々の調査データ内容は一切公表せず、集計担当者と事務局で保管いたします。(政策委員会)

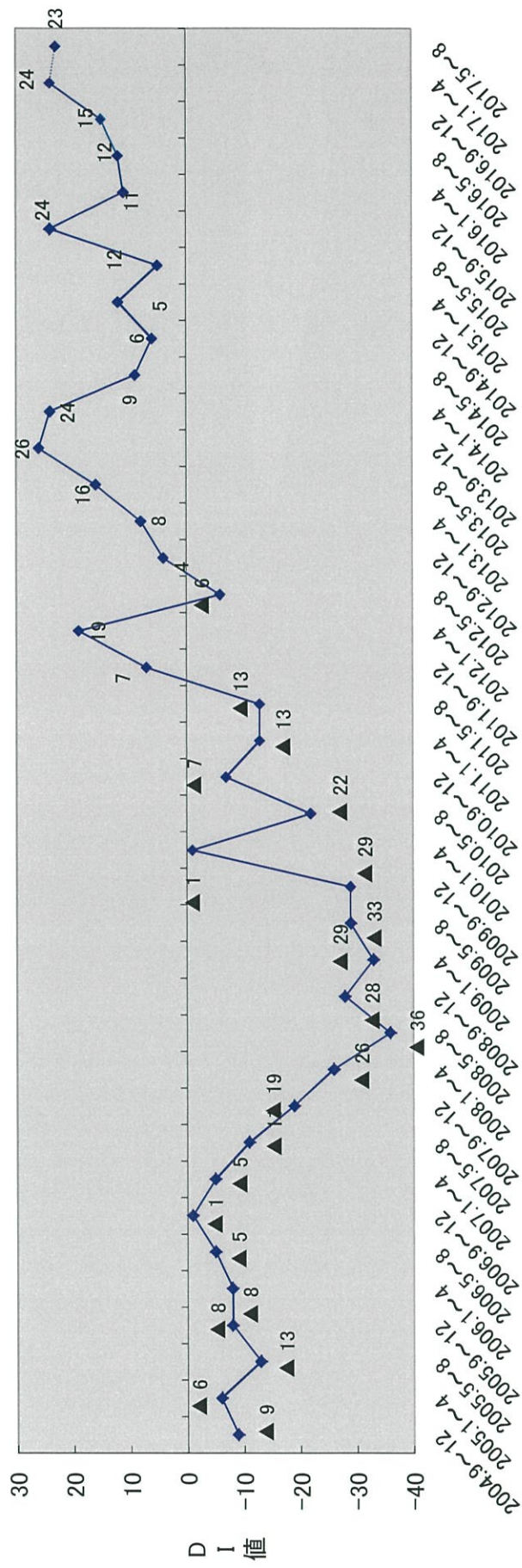
☆ このアンケートは、e.doyuでも実施しています。そちらでご回答いただいた場合はこのFAXでのご回答は必要ございません。

締め切り 5月22日(月)

氏名		企業名	
(1) あなたの会社の状況についてお答えください。 (該当するものに○印をつけてください)		業 種	1、製造業 2、建設業 3、卸売業 4、小売業 5、サービス業 (a:対事業所向け b:対個人向け) 6、農水産業 事業内容()
(今期) 2017年1月～4月の実績		(来期) 2017年5～8月の見通し	
1、業況	良い 変わらず 悪い	良い 変わらず 悪い	
	今期の業況について、前期(2016年9月～12月)と比較してお聞かせ下さい。 ①好転 ②横ばい ③悪化		
2、売上	良い 変わらず 悪い	良い 変わらず 悪い	
3、収益	良い 変わらず 悪い	良い 変わらず 悪い	
4、資金繰り	良い 変わらず 悪い	良い 変わらず 悪い	
(2) 経営上の問題点(上位2つまで選び、番号に○をつけてください)			
1、価格競争の激化 2、受注競争の激化 3、売上の減少 4、事業資金の借入難 5、仕入価格の上昇 6、人件費の増加 7、管理費等間接費の増加 8、金利負担の増加 9、従業員の不足 10、税負担の増加 11、その他()			
(3) 経営上の力点はどこに置かれてありますか(下記の上位2つまで選び番号に○をつけてください)			
1、付加価値の増大 2、新規受注(顧客)の確保 3、新規事業の展開 4、得意分野の絞込み 5、人件費削減 6、人件費以外の経費節減 7、財務体質の強化 8、機械化促進 9、情報力強化 10、人材確保 11、社員教育 12、研究開発 13、機構改革 14、その他()			
(4) 前回第46回景気動向調査のアンケート結果をもとにお尋ねいたします。			
景気動向調査アンケートでは、2012年9-12月期から前回調査の2016年9-12月期まで、全体の業況DI値は継続してプラスの値で推移(添付資料)しており、景況感は悪くはないと考えられます。しかしながら、前回の調査で世代別(社員やご家族、ご友人を含む)にお尋ねした「景気をどのように感じていますか」というアンケートでは、全世代を通じて「数年前から変わらない」または「悪いと感じている」方が最も多く、「良いと感じている」方はどの世代でも2割以下にとどまりました。そこでご質問いたします。			
全体の業況DI値 2012.5-8月期 ～2017.1-4月期(予想)			
・あなたにとって「景気が良い」とはどのようなことを指しますか。下記語群よりお選びください。(複数回答可) ①貯蓄を十分にできる() ②ぜいたく品など欲しいものを購入できる() ③資金繰りが良好() ④報道や広告で好景気が謳われている() ⑤従業員給与や役員報酬を増やすことができる() ⑥自社の業績が良い() ⑦他社の業績が良い() ⑧物価の上昇() ⑨その他()			
(5) 現在、鹿児島市は今後5年間にハード面で大きく変わると言われており、様々な事業計画が進行しています。下記の事業計画のうち、ご存知の計画をお選びください。(複数回答可)			
①鹿児島駅舎、周辺地域開発() ②JR 磯駅設置計画() ③国道10号鹿児島北バイパス磯地区トンネル計画() ④鶴丸城御楼門復元() ⑤本港区(ドルフィンポート)市電延伸計画() ⑥ドルフィンポート跡地整備事業() ⑦交通局跡地への大型複合施設建設() ⑧臨港道路の鴨池港区～中央港区整備() ⑨中央町1番街地区複合施設建設() ⑩千日町(天文館)再開発ビル建設() ⑪鹿児島中央駅西口JR九州複合施設建設()			

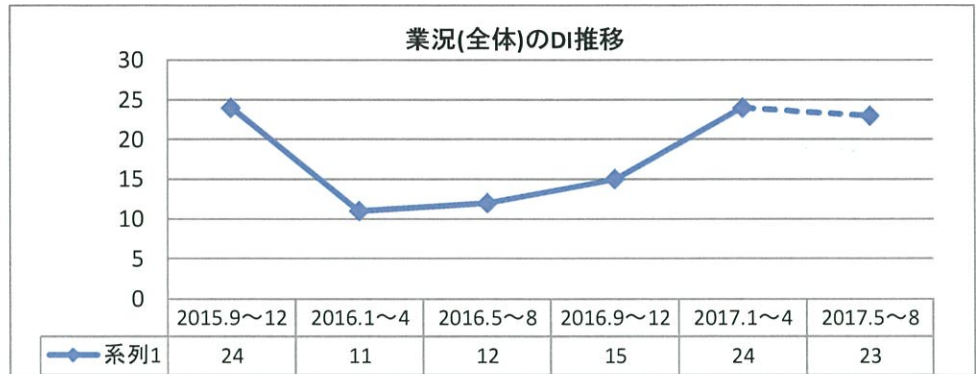
返信はFAXで同友会事務局(FAX⇒099-259-4838)までお願いします。

全体の業況

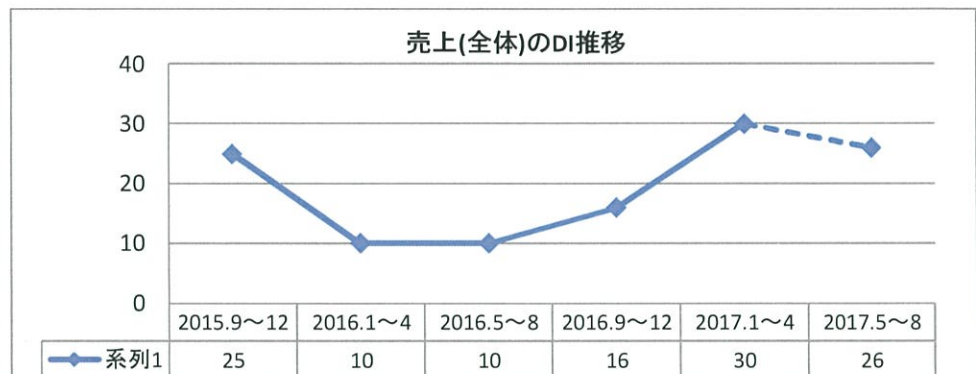


全体

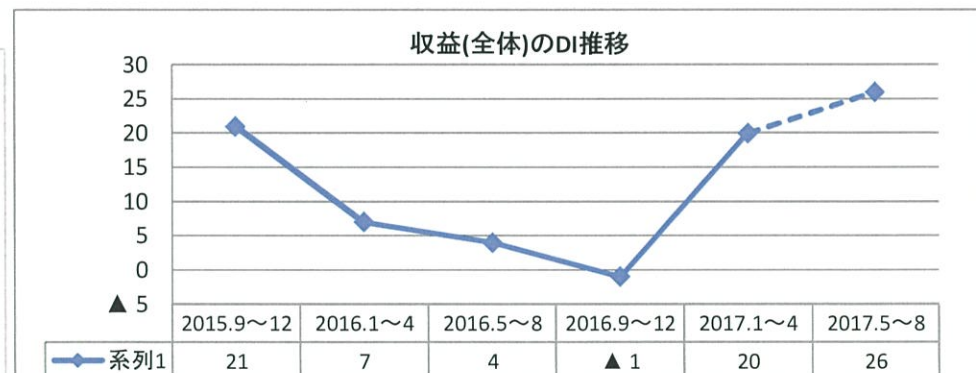
今期の業況は「良い」37.0%、「変わらず」50.0%、「悪い」13.0%でD.I.24となっており、前期と比べ上昇しております。来期の業況はD.I.23とわずかに下降する見通しです。



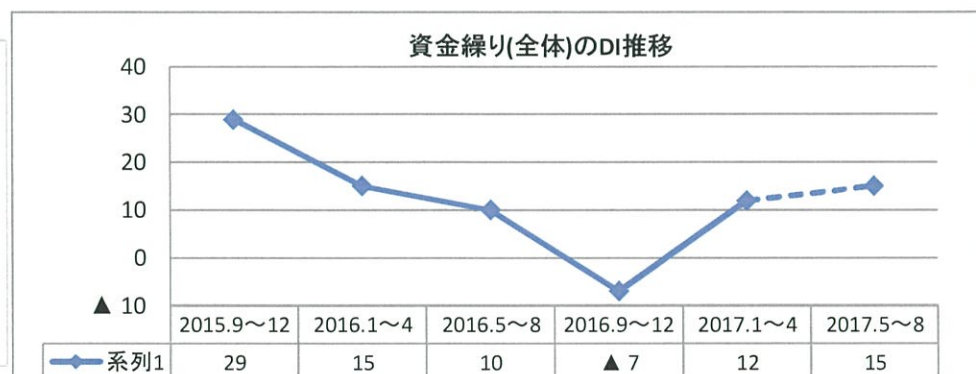
今期の売上は「良い」40.2%、「変わらず」50.0%、「悪い」9.8%でD.I.30となっており、前期に比べ大きく上昇しております。来期の売上はD.I.26で少し下降する模様です。



今期の収益は「良い」38.0%、「変わらず」43.5%、「悪い」18.5%でD.I.20となっており、前期から大きく上昇しています。来期の収益はD.I.26とさらに上昇する模様です。

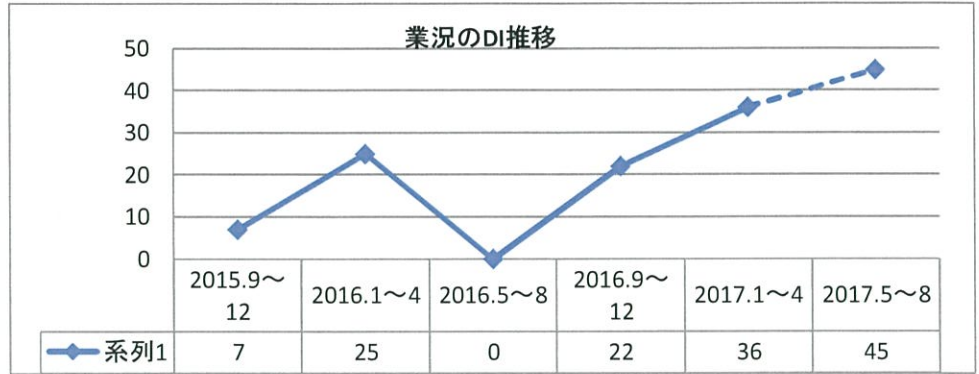


今期の資金繰りは「良い」22.8%、「変わらず」66.3%、「悪い」10.9%でD.I.12となっており、前期に比べて上昇しております。来期の資金繰りはD.I.15とわずかに上昇する模様です。

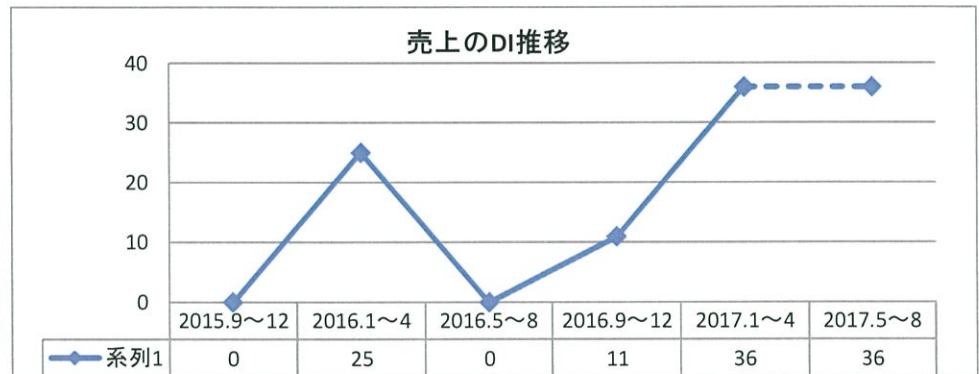


製造業

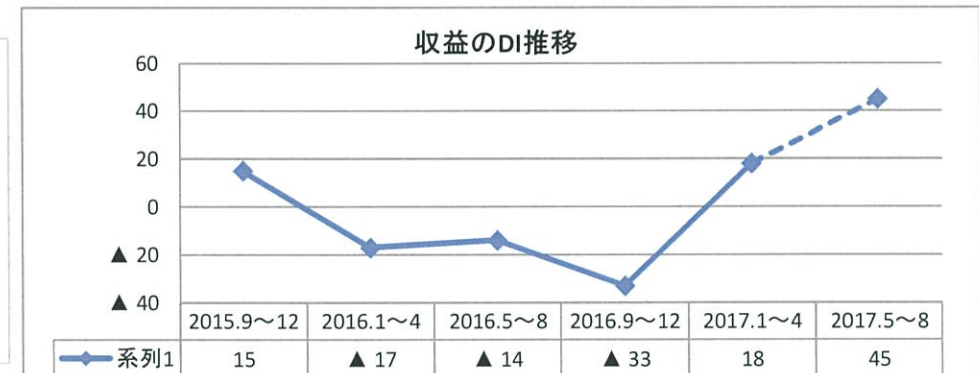
今期の業況は「良い」54.5%、「変わらず」27.3%、「悪い」18.2%でD.I.36となっており、前期から引き続き上昇しています。
来期の業況はD.I.45と継続して上昇する模様です。



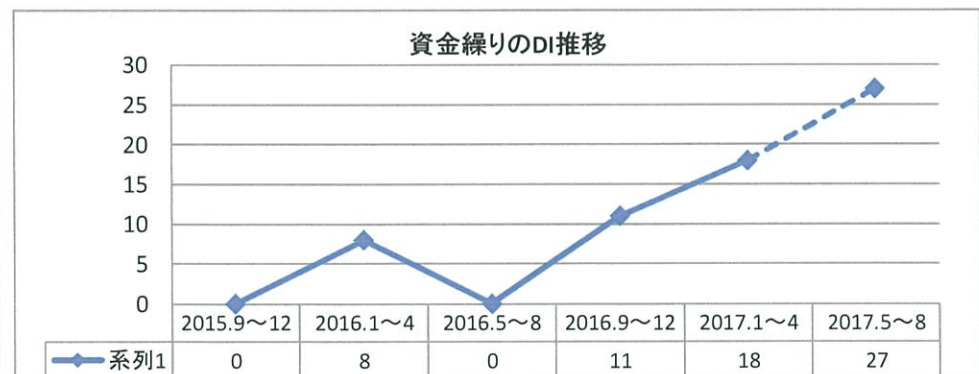
今期の売上は「良い」45.5%、「変わらず」45.5%、「悪い」9.1%でD.I.36となっており、前期から非常に大きく上昇しています。
来期の売上はD.I.36と今期と変わらない見通しです。



今期の収益は「良い」45.5%、「変わらず」27.3%、「悪い」27.3%でD.I.18となっており、前期に比べ大きく上昇しています。
来期の収益はD.I.45とさらに上昇の見通しとなっています。

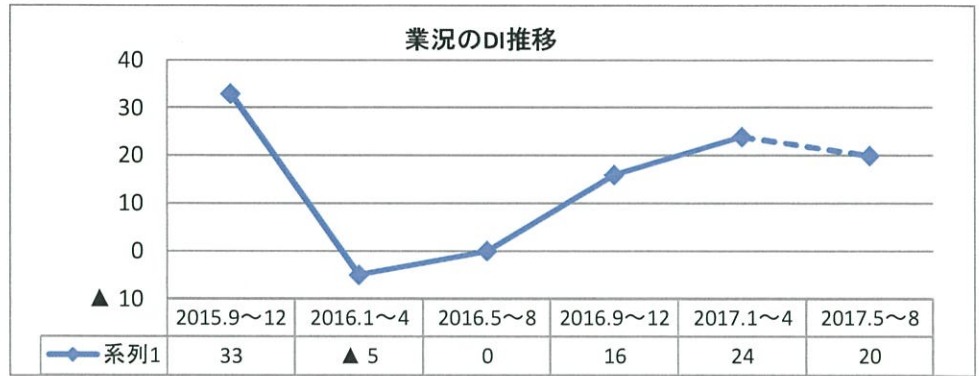


今期の資金繰りは「良い」27.3%、「変わらず」63.6%、「悪い」9.1%でD.I.18となっており、前期に比べ上昇しています。
来期の資金繰りはD.I.27と今期に続き上昇する見通しとなっています。

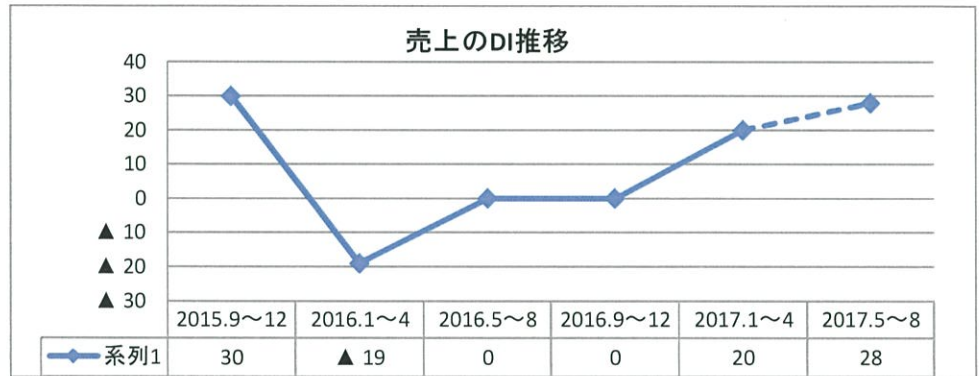


建設業

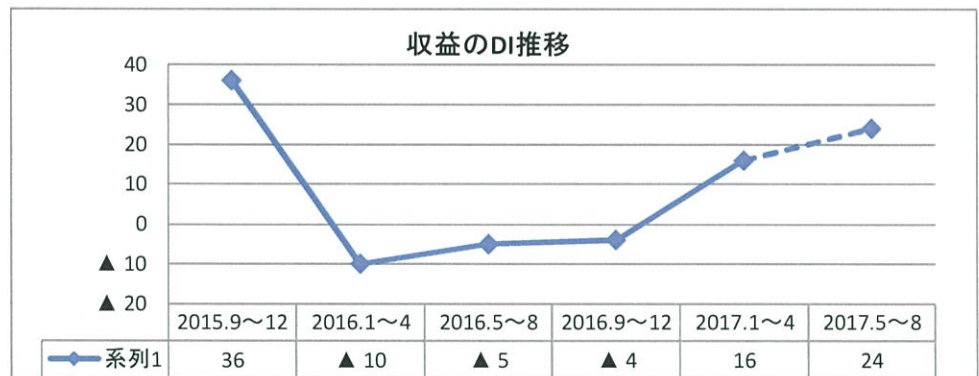
今期の業況は「良い」32.0%、「変わらず」60.0%、「悪い」8.0%でD.I.24となっており、前期に比べ少し上昇しました。来期の業況はD.I.20とわずかにする模様です。



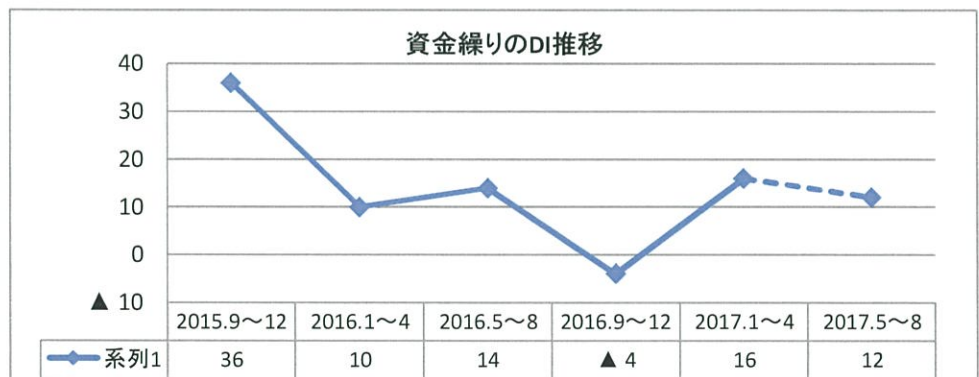
今期の売上は「良い」28.0%、「変わらず」64.0%、「悪い」8.0%でD.I.20となっており、前期から上昇しました。来期の売上はD.I.28と少し上昇する模様です。



今期の収益は「良い」32.0%、「変わらず」52.0%、「悪い」16.0%でD.I.16となっており、前期に比べ上昇しています。来期の収益はD.I.24と今期から少し上昇する模様です。

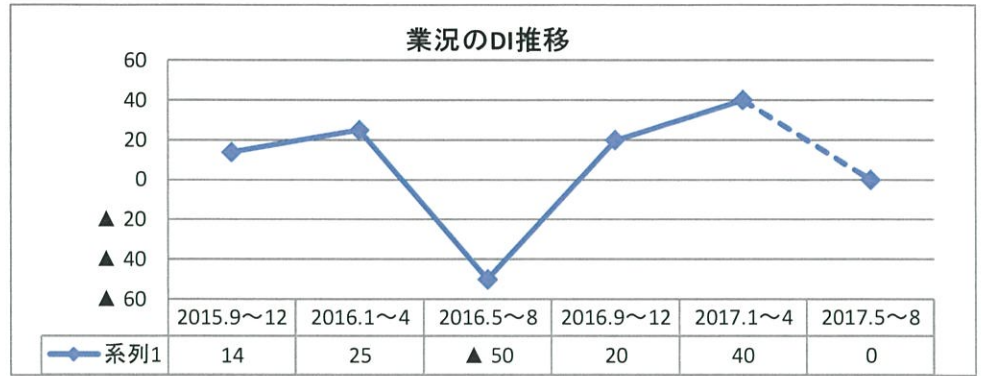


今期の資金繰りは「良い」28.0%、「変わらず」60.0%、「悪い」12.0%でD.I.16となっており、前期に比べ上昇しています。来期の資金繰りはD.I.12とわずかに下降する模様です。

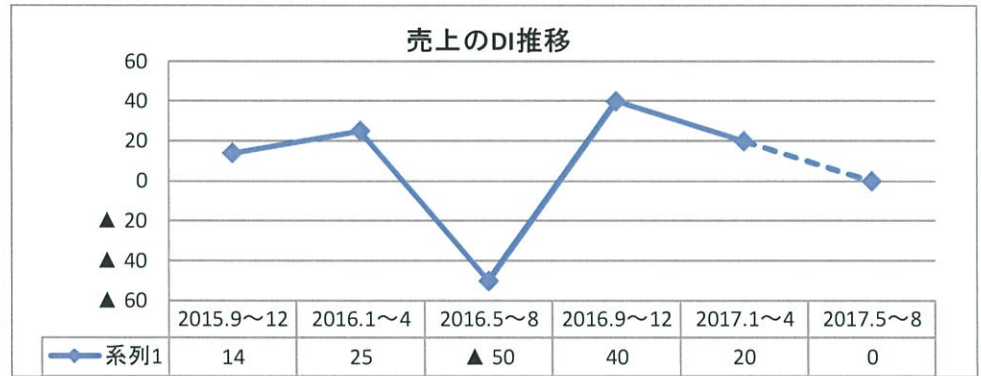


卸売業

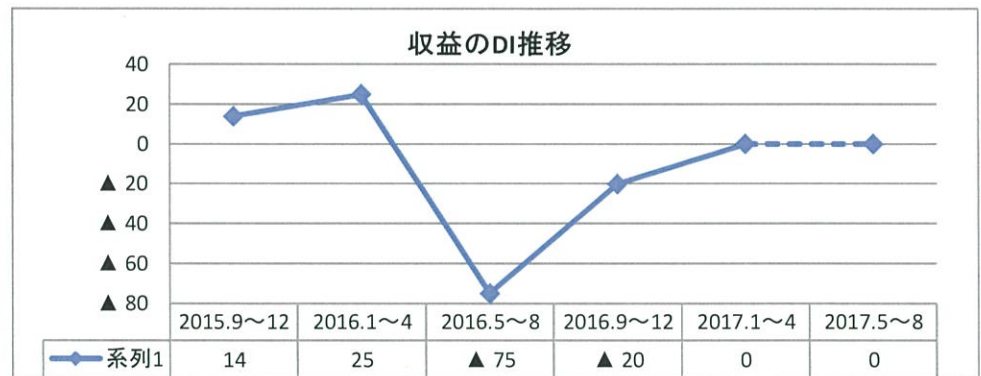
今期の業況は「良い」40.0%、「変わらず」60.0%、「悪い」0%でD.I.40となっており、前期から少し上昇しています。来期の業況はD.I.0と下降する見通しとなっています。



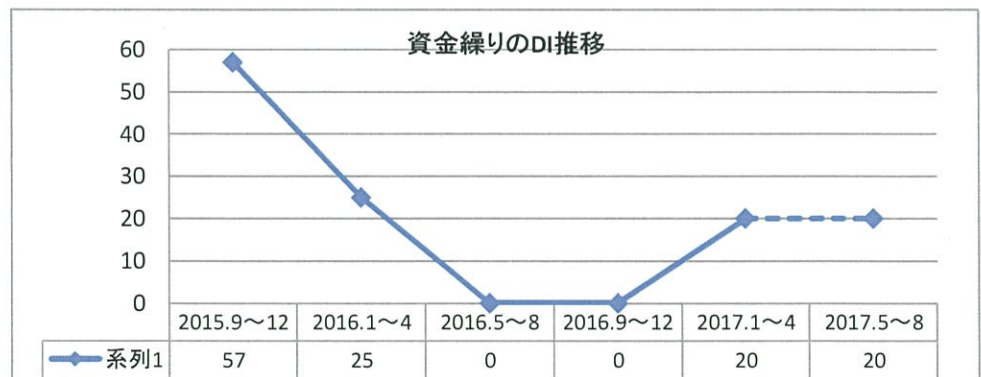
今期の売上は「良い」20.0%、「変わらず」80.0%、「悪い」0%でD.I.20となっており、前期に比べ少し下降しています。来期の売上はD.I.0とさらに下降する模様です。



今期の収益は「良い」20.0%、「変わらず」60.0%、「悪い」20.0%でD.I.0となっており、前期に比べ少し上昇しています。来期の収益はD.I.0と今期と変わらない模様です。

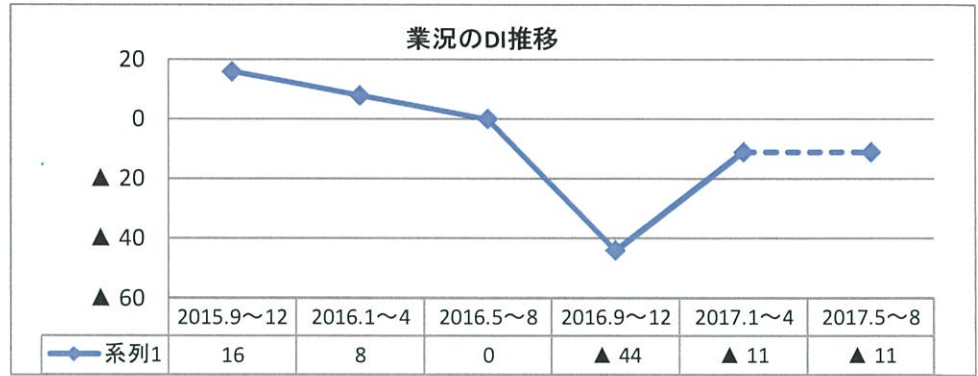


今期の資金繰りは「良い」20.0%、「変わらず」80.0%、「悪い」0%でD.I.20となっており、前期から上昇しています。来期の資金繰りはD.I.20と今期と変わらない模様です。

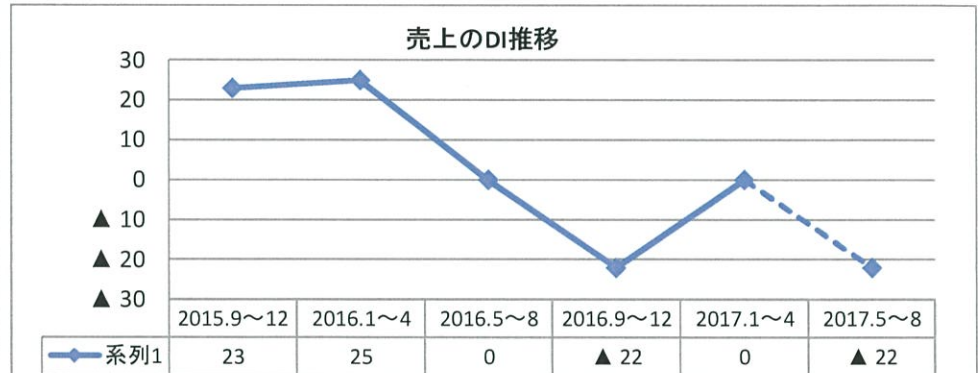


小売業

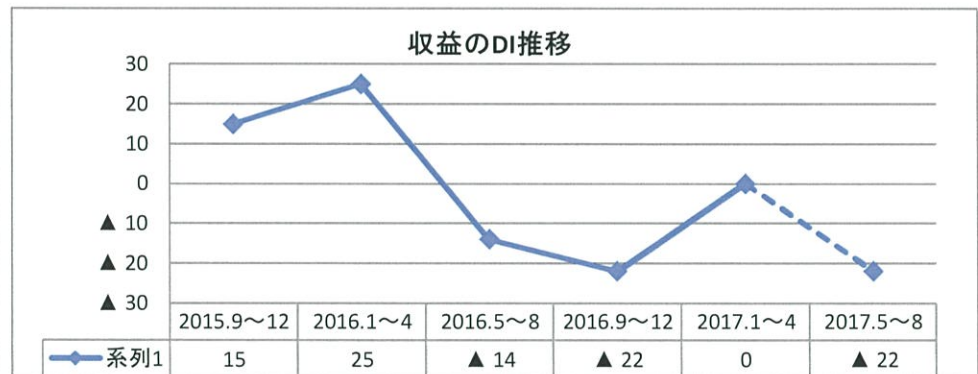
今期の業況は「良い」11.1%、「変わらず」66.7%、「悪い」22.2%でD.I.▲11となっており、前期に比べ大きく上昇しています。来期の業況はD.I.▲11と今期と変わらない模様です。



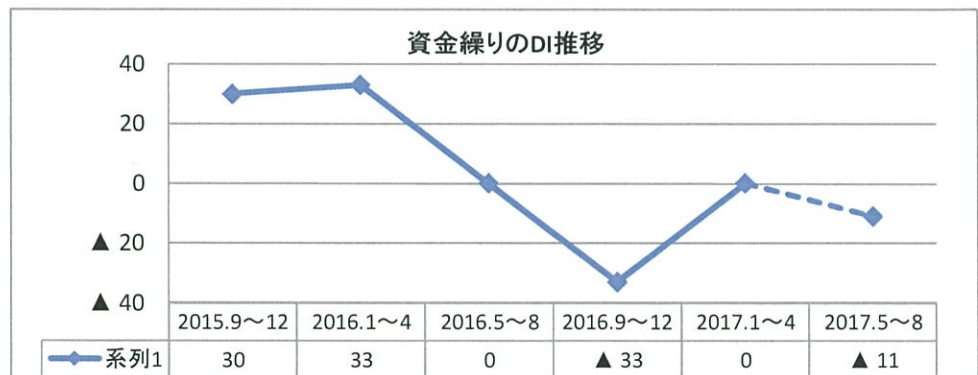
今期の売上は「良い」22.2%、「変わらず」55.6%、「悪い」22.2%でD.I.0となっており、前期から上昇しています。来期の売上はD.I.▲22と再び下降する見通しです。



今期の収益は「良い」22.2%、「変わらず」55.6%、「悪い」22.2%でD.I.0となっており、前期に比べて上昇しています。来期の収益はD.I.▲22と下降する見通しです。

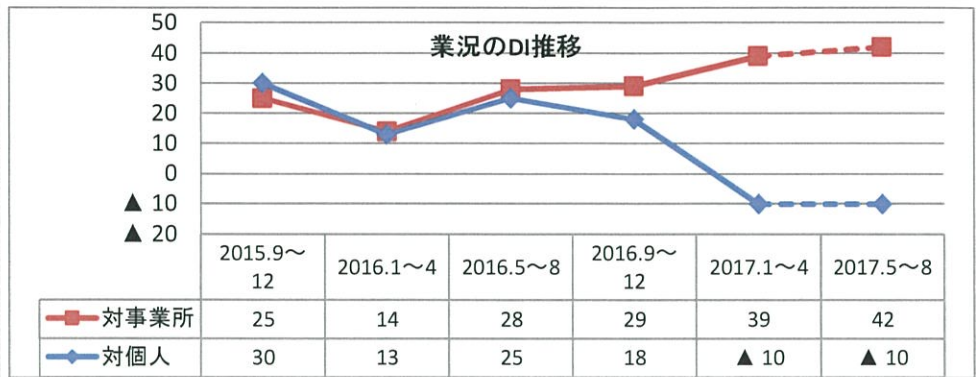


今期の資金繰りは「良い」11.1%、「変わらず」77.8%、「悪い」11.1%でD.I.0となっており、前期から上昇しています。来期の資金繰りは▲11とわずかに下降する模様です。

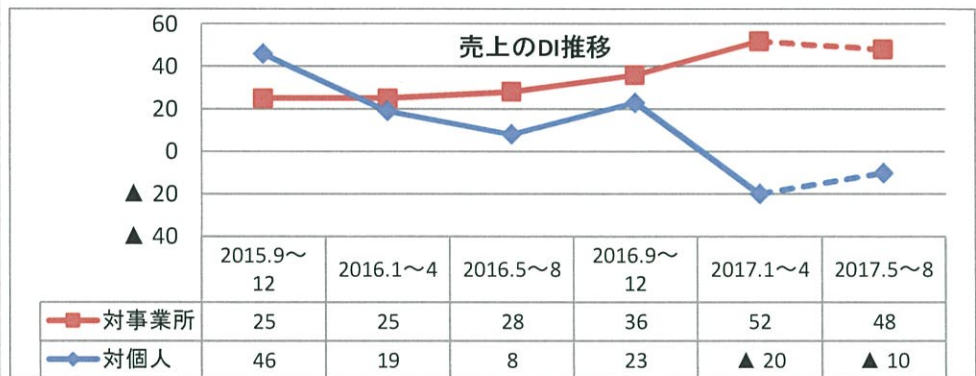


サービス業

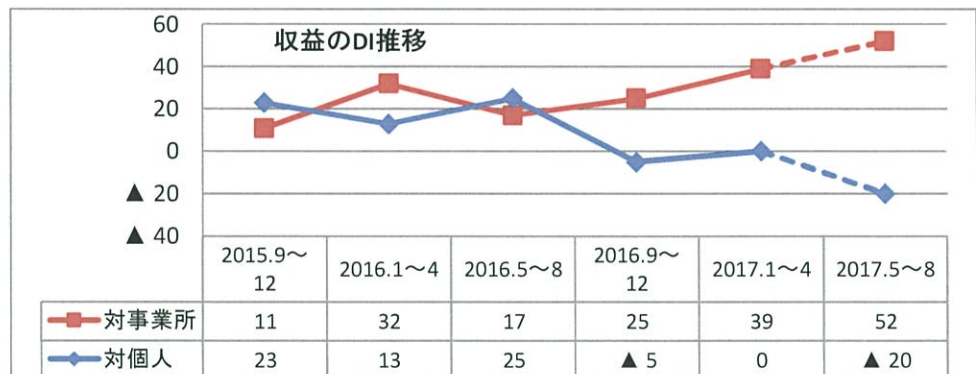
今期の対事業所向けの業況は「良い」45.2%、「変わらず」48.4%、「悪い」6.5%でD.I.39となっており、前期に比べ少し上昇しています。来期の業況はD.I.42とわずかに上昇する見通しです。対個人向けは「良い」30.0%、「変わらず」30.0%、「悪い」40.0%でD.I.▲10となっており、前期に比べ大きく下降しています。来期はD.I.▲10と今期から変わらない見通しです。



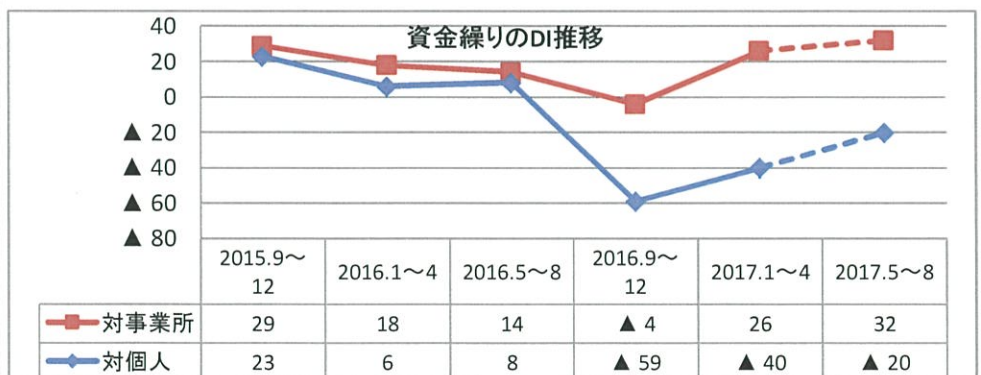
今期の対事業所向けの売上は「良い」58.1%、「変わらず」35.5%、「悪い」6.5%でD.I.52となっており、前期に比べ少し上昇しています。来期の売上はD.I.48とわずかに下降する見通しです。対個人向けは「良い」40.0%、「変わらず」40.0%、「悪い」20.0%でD.I.▲20となっており、前期と比べ大きく下降しています。来期はD.I.▲10とわずかに上昇する見通しです。



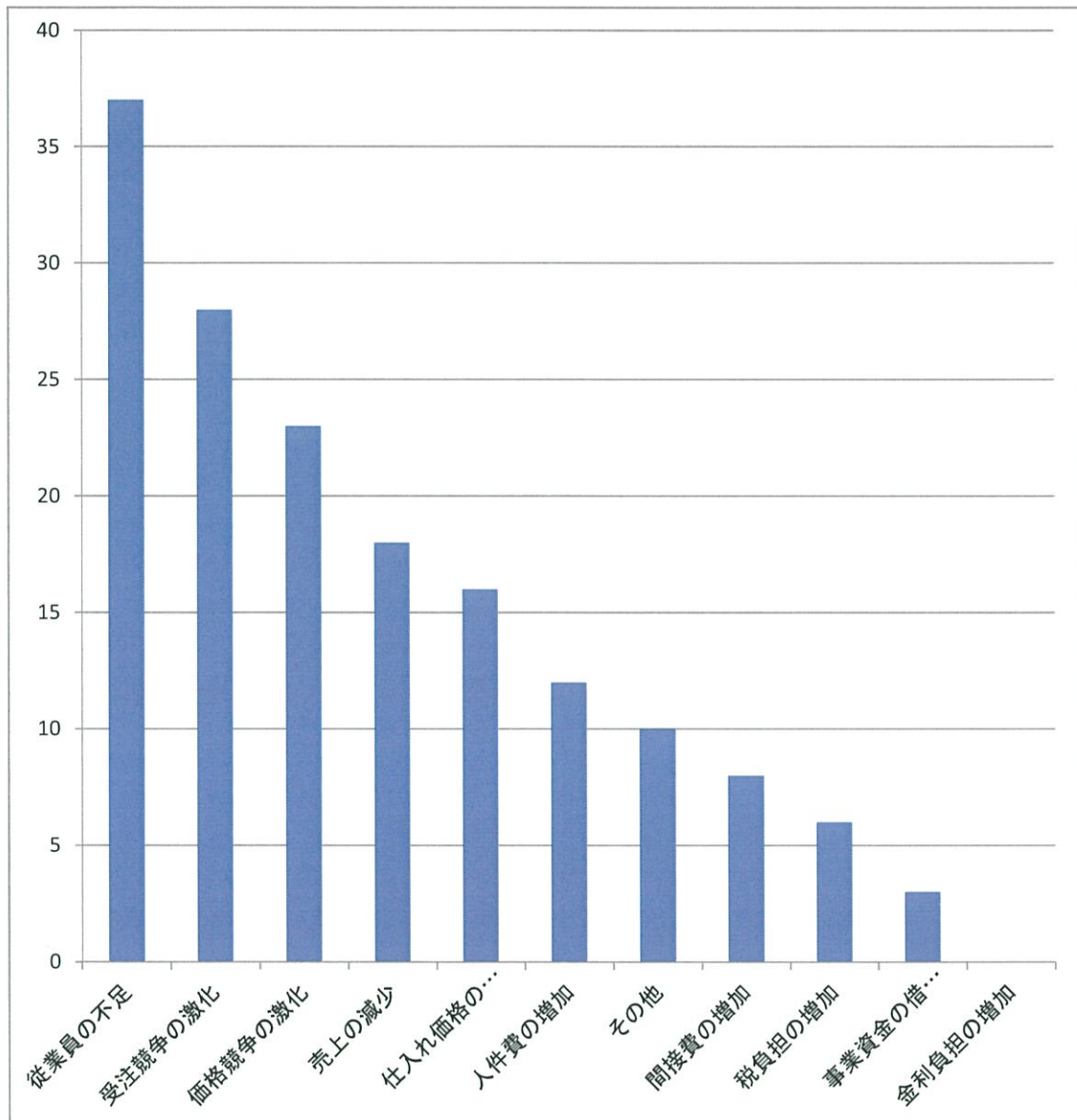
今期の対事業所向けの収益は「良い」48.4%、「変わらず」41.9%、「悪い」9.7%でD.I.39となっており、前期に比べ少し上昇しています。来期の収益はD.I.52とさらに上昇する見通しです。対個人向けは「良い」40.0%、「変わらず」20.0%、「悪い」40.0%でD.I.0となっており、前期に比べわずかに上昇しました。来期はD.I.▲20と下降する見通しです。



今期の対事業所向けの資金繰りは「良い」29.0%、「変わらず」67.7%、「悪い」3.2%でD.I.26となっており、前期に比べ上昇しています。来期の資金繰りはD.I.32とわずかに上昇する見通しです。対個人向けは「良い」0%、「変わらず」60.0%、「悪い」40.0%でD.I.▲40となっており、前期から少し上昇しています。来期はD.I.▲20と引き続き上昇する見通しです。



経営上の問題点

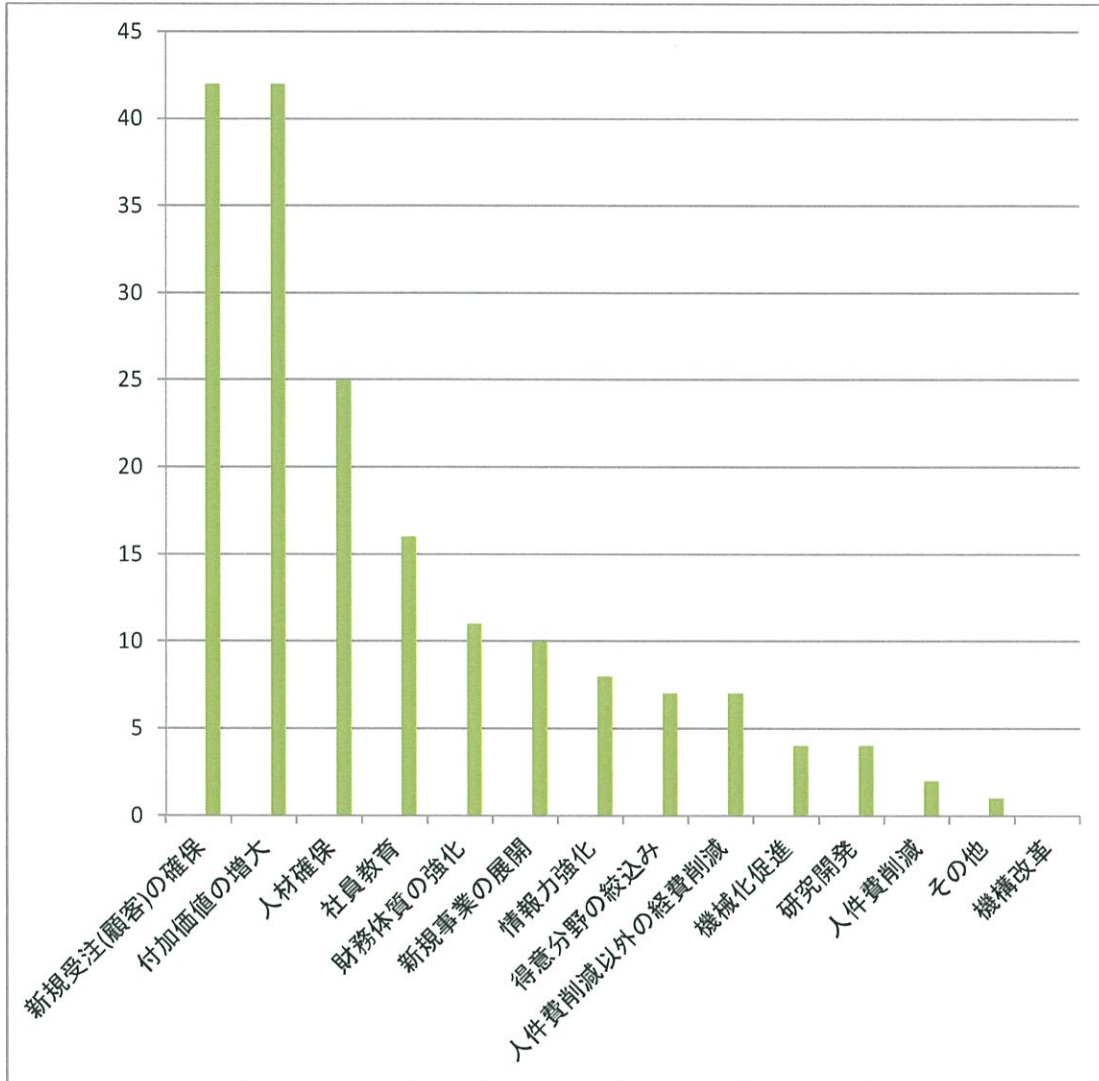


カテゴリー	件数	ウエイト
従業員の不足	37	23.0%
受注競争の激化	28	17.4%
価格競争の激化	23	14.3%
売上の減少	18	11.2%
仕入れ価格の上昇	16	9.9%
人件費の増加	12	7.5%
その他	10	6.2%
間接費の増加	8	5.0%
税負担の増加	6	3.7%
事業資金の借入難	3	1.9%
金利負担の増加	0	0.0%

161 100.0%

その他 人材育成。広報関係。少子高齢化、人口減少。経営理念の共有
消費者の糖質ダイエットブームのせいか、客離れを感じる。

経営上の力点



カテゴリー	件数	ウエイト
新規受注(顧客)の確保	42	23.5%
付加価値の増大	42	23.5%
人材確保	25	14.0%
社員教育	16	8.9%
財務体質の強化	11	6.1%
新規事業の展開	10	5.6%
情報力強化	8	4.5%
得意分野の絞込み	7	3.9%
人件費削減以外の経費削減	7	3.9%
機械化促進	4	2.2%
研究開発	4	2.2%
人件費削減	2	1.1%
その他	1	0.6%
機構改革	0	0.0%

179 100.0%

前回第46回景気動向調査のアンケート結果をもとにお尋ねいたします。

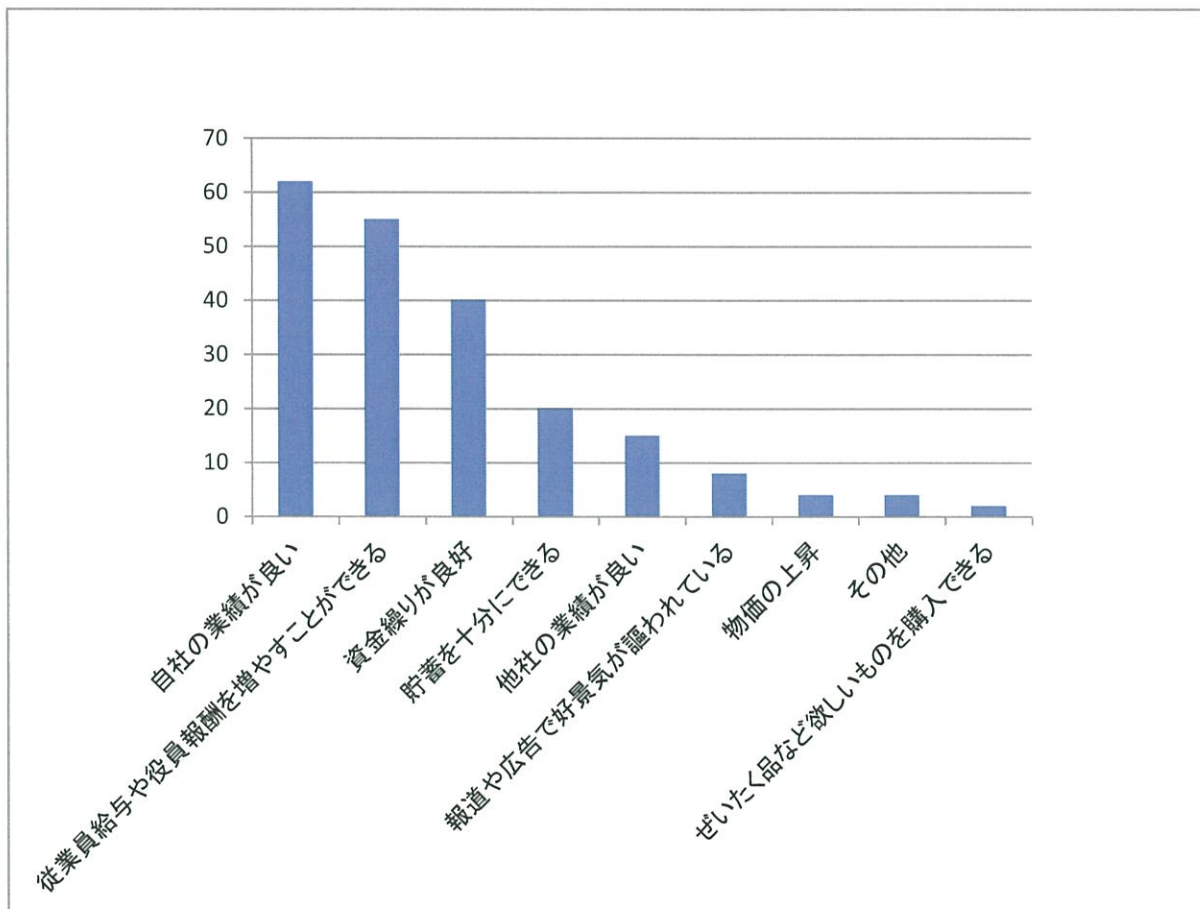
景気動向調査アンケートでは、2012年9-12月期から前回調査の2016年9-12月期まで、全体の業況DI値は継続してプラスの値で推移(添付資料)しており、景況感は悪くはないと考えられます。しかしながら、前回の調査で世代別(社員やご家族、ご友人を含む)にお尋ねした「景気をどのように感じていますか」というアンケートでは、全世代を通じて「数年前から変わらない」または「悪いと感じている」方が最も多く、「良いと感じている」方はどの世代でも2割以下にとどまりました。そこでご質問いたします。

あなたにとって「景気が良い」とはどのようなことを指しますか。下記語群よりお選びください。(複数回答可)

- ①貯蓄を十分にできる ②ぜいたく品など欲しいものを購入できる ③資金繰りが良好
- ④報道や広告で好景気が謳われている ⑤従業員給与や役員報酬を増やすことができる
- ⑥自社の業績が良い ⑦他社の業績が良い ⑧物価の上昇 ⑨その他

	回答数	割合
1 自社の業績が良い	62	29.5%
2 従業員給与や役員報酬を増やすことができる	55	26.2%
3 資金繰りが良好	40	19.0%
4 貯蓄を十分にできる	20	9.5%
5 他社の業績が良い	15	7.1%
6 報道や広告で好景気が謳われている	8	3.8%
7 物価の上昇	4	1.9%
8 その他	4	1.9%
9 ぜいたく品など欲しいものを購入できる	2	1.0%
合計	210	100.0%

その他:銀行が融資を進める。顧客の金払いが良い時。中期的見通し感が良好。



現在、鹿児島市は今後5年間にハード面で大きく変わると言われており、様々な事業計画が進行しています。

下記の事業計画のうち、ご存知の計画をお選びください。(複数回答可)

- ①鹿児島駅舎、周辺地域開発
- ②JR磯駅設置計画
- ③国道10号鹿児島北バイパス磯地区トンネル計画
- ④鶴丸城御楼門復元
- ⑤本港区(ドルフィンポート)市電延伸計画
- ⑥ドルフィンポート跡地整備事業
- ⑦交通局跡地への大型複合施設建設
- ⑧臨港道路の鴨池港区～中央港区整備
- ⑨中央町1番街地区複合施設建設
- ⑩千日町(天文館)再開発ビル建設
- ⑪鹿児島中央駅西口JR九州複合施設建設

	回答数	割合
1 交通局跡地への大型複合施設建設	67	13.1%
2 鶴丸城御楼門復元	64	12.5%
3 本港区(ドルフィンポート)市電延伸計画	61	11.9%
4 鹿児島駅舎、周辺地域開発	55	10.7%
5 中央町1番街地区複合施設建設	53	10.4%
6 ドルフィンポート跡地整備事業	47	9.2%
7 千日町(天文館)再開発ビル建設	45	8.8%
8 JR磯駅設置計画	34	6.6%
9 鹿児島中央駅西口JR九州複合施設建設	30	5.9%
10 国道10号鹿児島北バイパス磯地区トンネル計画	29	5.7%
11 臨港道路の鴨池港区～中央港区整備	27	5.3%
	512	100.0%

